

# 別府市の湯のまち訪問看護ステーション内

地域住民の健康に関する相談窓口「暮らしの保健室」が、別府市南立石生日町の湯のまち訪問看護ステーション内にオープンした。医療や介護に関する相談や暮らしの中での困り事に、看護師や保健師ら専門職が対応する。月曜から金曜の午前10時から午後3時まで、誰でも無料で利用できる。

## 専門職が対応

21日に「暮らしの保健室」で開所式があり、約50人が出席した。運営する一般社団法人湯のまちの小野朱美代表理事は「関係機関と連携しながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる町をつくらせていきたい」とあいさつした。

保健室では曜日ごとにスケジュールが決まっており、看護師、歯科衛生士、薬剤師、ケアマネジャーらが対応する。午前中と月曜、木曜の午後は健康相談など。火曜午後は口腔

# 地域の「保健室」オープン



湯のまち訪問看護ステーション内に開所した「暮らしの保健室」。医療や介護、健康について誰でも無料で相談できる。別府市

## 誰でも気軽に相談を

ケアや薬、介護などの相談。水曜午後は物忘れ相談。金曜午後はハンドマッサージや折り紙、囲碁などをやる。相談を受けて必要があれば、病院や居宅介護支援事業所、地域包括支援センターなど、関係機関へ橋渡しする。

同法人は、訪問看護やがんサロン、老人クラブでの健康教室などに取り組んできた。保健室の開所は、地域に高齢世帯や単身世帯が増え、住民同士の交流が希薄化している様子を目の当たりにし、「誰でも気軽に立ち寄ったり、相談できる場所が必要」と考えたことがきっかけ。市の「協働のまちづくり事業補助金」を受けて開設した。

問い合わせは暮らしの保健室(☎0977・24・2226)。(小石朋世)